

## ニュースレター26号【防災学術連携体】2020/1/20

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。新しい令和の年も2年目を迎えました。今年が平穏で自然災害の少ない年になることを念じつつ、国内外の防災・減災活動に邁進する所存です。振り返れば、昨年は9月の台風15号、10月の台風19号、その後の大雨など、連続する自然災害に見舞われた年でした。

防災学術連携体では、すでにニュースレター25号でご案内しましたように、災害が大型化する中で、低頻度巨大災害に関わる自然事象の発生の可能性と社会への影響について、日本学術会議の防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会低頻度巨大災害分科会と共催で、今年の3月18日(水曜日)の12時30分から、第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」を日本学術会議講堂にて開催いたします。以下の(1)に示すように、日本学術会議及び各学会からの多くの発表がありますので、多くの皆様のご参加を期待します。

防災学術連携体 代表幹事 米田雅子 (慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員)  
代表幹事 古谷誠章 (早稲田大学教授、日本建築学会前会長)



### 防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」

日時：2020年3月18日(水) 12:30~17:30

会場：日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7丁目22番地34号)

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会 低頻度巨大災害分科会、防災学術連携体(57学会)

参加費：無料

申込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S16396674/>

趣旨：低頻度巨大災害を引き起こす極端な自然事象の発生の可能性を、現在までに得られている科学的知見に基づき、理学系各分野の専門家より解説していただき、これらが社会に及ぼす影響について工学系、および人文・社会科学系の各分野の専門家より発表していただきます。これらをもとに、今後の学術分野における取組みの方向性を議論します。



### 2019/12/24 (13:00~17:30、日本学術会議講堂にて) 「令和元年台風19号に関する緊急報告会」を開催しました。\*発表資料等リンクよりご覧いただけます

シンポジウムは一般市民の皆様を含め720名の参加者を得て、成功裏に終了しました。今回のシンポジウムは、日本学術会議講堂(東京乃木坂)だけでなく、日本学術会議2階大会議室と大阪常翔ホールにて同時中継が行われました。

### 第25回日本災害医学会総会・学術集会「これでいいのか、災害医療!」

主催：日本災害医学会 日時：令和2年2月20日(木)~22日(土) 場所：神戸国際会議場・神戸商工会議所・アリストンホテル神戸

\*2月21日午後、防災学術連携体特別企画として、日本災害医学会との連携セッション「これでいいのか、災害情報の活用!」が企画されています。

### 公開シンポジウム「第66回構造工学シンポジウム」

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会 日時：令和2年4月18日(土)~4月19日(日) 場所：東京工業大学大岡山キャンパス西9号館

\*4月18日のパネルディスカッションで、「首都直下地震への備え」が議論されます。

### 日本地球惑星科学連合2020年大会

主催：日本地球惑星科学連合 日時：令和2年5月24日(日)~28日(木) 場所：千葉県千葉市 幕張メッセおよび東京ベイ幕張ホール

※5月24日午後には防災学術連携体との共同で「変化する気候下での強風災害にどう取り組むか」が企画されています。

防災学術連携体幹事・事務局長田村和夫(日本学術会議連携会員)

小野寺篤(日本建築学会 事務局長代理) 防災学術連携体事務局

[website@janet-dr.com](mailto:website@janet-dr.com)

担当：麓 絵理子(フモト エリコ)、小野口弘美(オノグチ ヒロミ)

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい

防災学術連携体は、日本学術会議協力学術研究団体に加盟申請をしました。